



PAC-CZ74UK

取付説明書

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(一般指示)



(アース接続)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「**第一種電気工事士**」の資格のある者が行うこと。
気密試験は「**冷凍装置検査員**」の資格のある者が行うこと。

 **警告**

◎配管工事をするときに

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
 - 法令違反のおそれあり。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

冷媒回路内に、指定の冷媒(R410A)以外の物質(空気など)を混入しないこと。

- 異常な圧力上昇による破裂・爆発のおそれあり。



混入禁止

冷媒が漏れていないことを確認すること。

- 冷媒が漏れると、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生するおそれあり。



指示を実行

◎電気工事をするときに

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 接続や固定に不備がある場合、断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取付けること。

- ほこり・水などによる感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。

- インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、ユニットの誤動作や故障が発生するおそれあり。
- ユニット側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じたりするおそれあり。



指示を実行

電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事を行うこと。

- 漏電・発熱・火災のおそれあり。



指示を実行

D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士の資格のある電気工事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないこと。
- アースに不備がある場合、ノイズによるユニットの誤動作・感電・発煙・火災のおそれあり。



アース接続

正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器＜開閉器+B種ヒューズ＞・配線用遮断器）を使用すること。




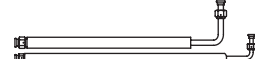
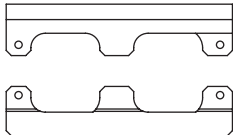
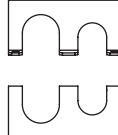
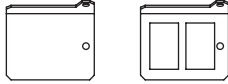
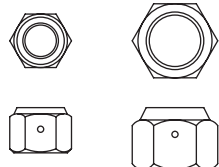


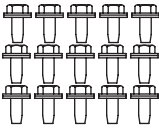

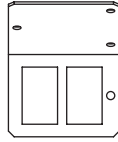
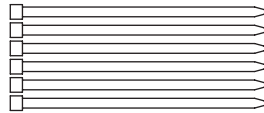
- 大きな容量のブレーカーを使用すると、故障・火災のおそれあり。



指示を実行

(1) 付属部品の確認

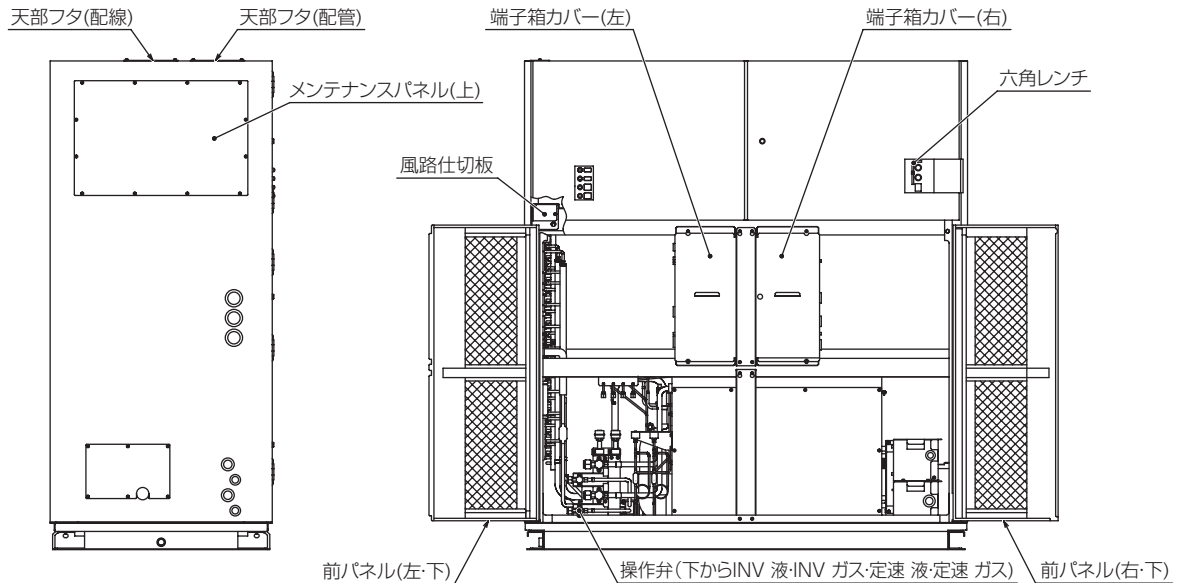
箱内には本取付説明書のほかに、以下の部品が同梱されていますのでご確認ください。

用途	①配管・上(INV)	②配管・上(定速)	③配管・下(INV)	④配管・下(定速)
上配管用				
	φ19.05(ガス) 1本 φ12.7(液) 1本	φ19.05(ガス) 1本 φ12.7(液) 1本	φ19.05(ガス/長) 1本 φ12.7(液/長) 1本	φ19.05(ガス/短) 1本 φ12.7(液/短) 1本
	⑤天部割りフタ	⑥中間割りフタ	⑦風路仕切板	⑧穴付フレアナット
				
	各1個	各1個	上配管用 1個(左) 上配管・上配線用 1個(右)	φ12.7(液管)用 2個 φ19.05(ガス管)用 2個
⑨サドル	⑩シリコンスペーサ	⑪M5タッピンネジ		
				
4個	2個	15個		
上配線用	⑫天部フタ	⑬風路仕切板	⑭結束バンド	
				
1個	1個	6個		

(2) 作業準備

本書に記載なき事項は、ユニット本体の据付工事説明書をご覧ください。

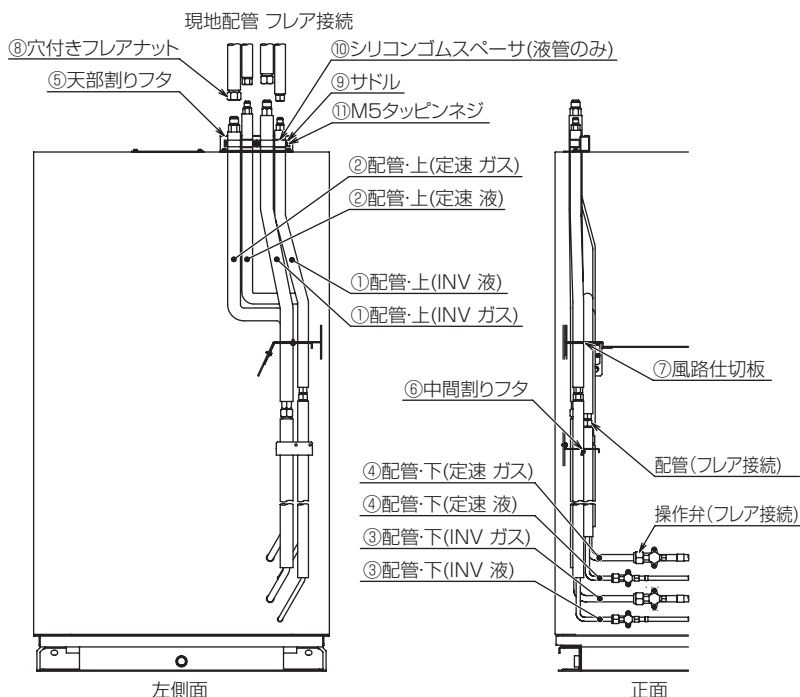
- ①前パネル（下）を開き、サイドパネル（左）上部のメンテナンスパネルを取外してください。
※パネルの開閉は前パネル（右上）のスイッチパネル内の六角レンチを使用します。
- ②天部フタを取外してください。（手前：上配管用 奥：上配線用）
- ③風路仕切板を取外してください。
- ④操作弁（4カ所）のフレアナットおよび銅キャップを取外してください。
- ⑤端子箱カバー（左右）を取外してください。（上配線工事のみ）



(3) 冷媒配管工事

機内配管組み込み

接続イメージ

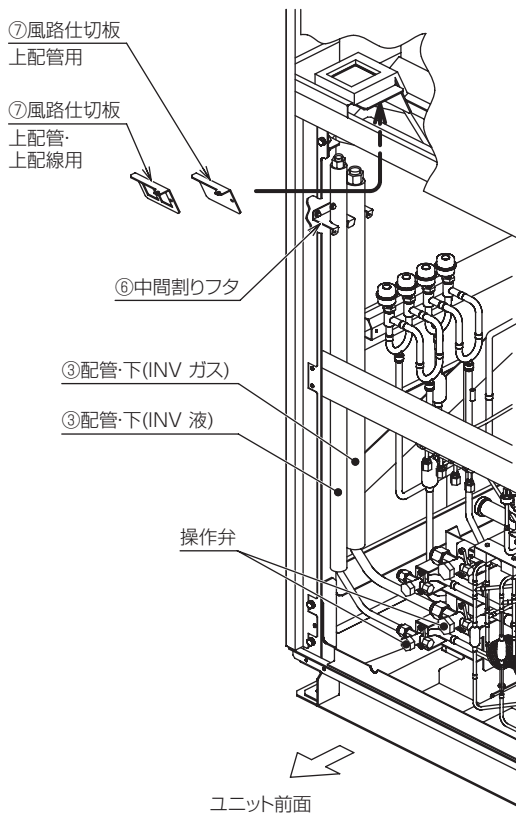


注意

- 周辺の板金エッジに触れないでください。
- 工具により熱交換器フィン・配管を傷付けないようご注意ください。
- フレアナットの締め付けトルクは下表に従ってください。
- フレアナットの開閉は必ずダブルスパナで行ってください。
- フレア接触面には冷凍機油（エステル油、エーテル油、またはアルキルベンゼン）を塗布してください。

フレアナット締めトルク

銅管外径 (mm)	締めトルク (N・m)
φ 12.7 (液管)	50 ~ 57.5
φ 19.05 (ガス管)	100 ~ 140



【1】 風路仕切板の交換

左図位置にある風路仕切板を、付属品⑦に交換します。
上配管のみ、または上配管 (⑩ネジ 4 本)・上配線併設用 (⑪ネジ 2 本) のいずれかを取付けてください。

【2】 中間割りフタの取付け

左図位置に⑥中間割りフタを取付けます。(⑩ネジ 2 本)
※柱に固定している配線の束は、結束クランプから外して作業してください。

【3】 下部配管の固定 (INV 側)

③配管・下 (INV 液・ガス) をそれぞれ中間割りフタの切欠きにはめこみ、配管の下端を操作弁に接続してください。

※接続し難い場合は、操作弁固定ネジを緩めて作業してください。

※上配線を同時施工の場合は、配線工事を先に実施してください。

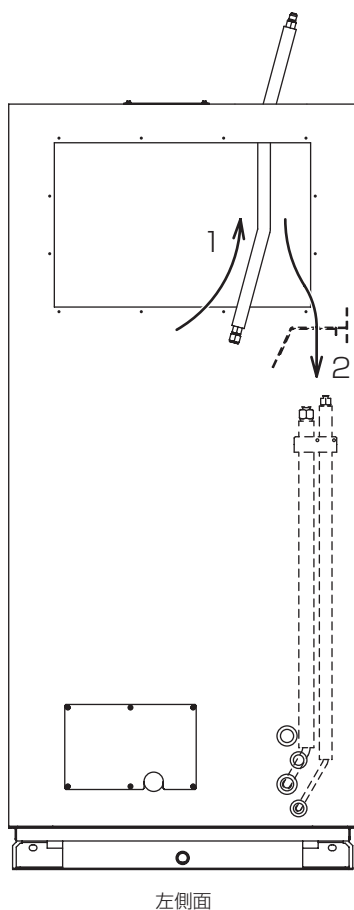
上配線工事要領は本説明書の 9 頁を参照ください。

【4】 上部配管の接続 (INV 側)

サイドパネル (左) の上部メンテナンス・スペースから、①配管・上 (INV 液・ガス) を挿入します。

配管は一度、ユニットの天板開口部から上に突き出し、下端をユニット内に戻して、風路貫通穴に挿入してください。(左図手順 1 → 2)

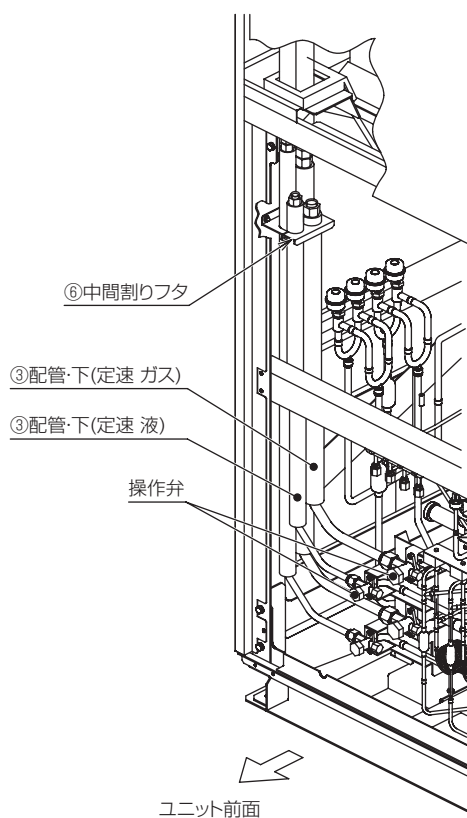
【3】 で取付けた下部配管とフレア接続します。



【5】 下部配管の固定（定速側）

④配管・下（INV 液・ガス）を【3】で取付けた INV 側配管と平行に並ぶように配置し、配管の下端を操作弁に接続してください。

※接続し難い場合は、操作弁固定ネジを緩めて作業してください。



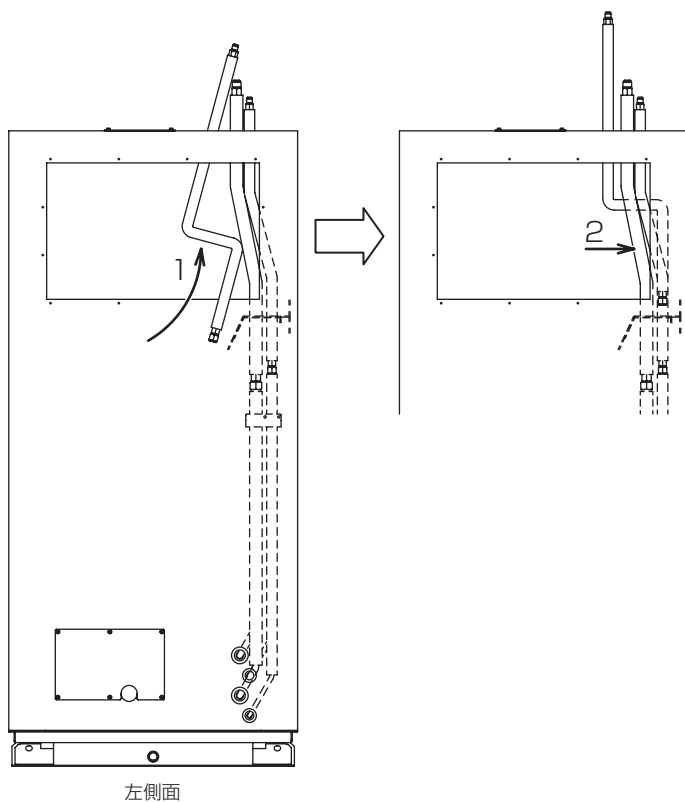
【6】 上部配管の接続 1（定速側 液管）

サイドパネル（左）の上部メンテナンス・スペースから、②配管・上（定速 液）をユニット内に挿入します。

配管は一度、ユニットの天板開口部から上に突き出し、下端をユニット内に戻します。

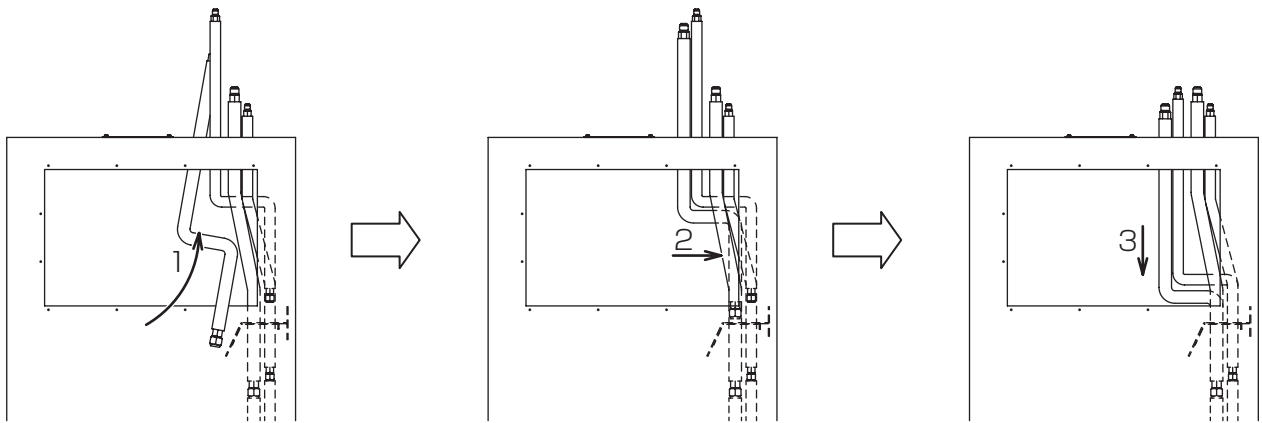
（左図手順 1 → 2）

※配管は風路貫通穴に通さず、左図の位置に立て掛けておきます。



【7】 上部配管の接続2 (定速側 ガス管)

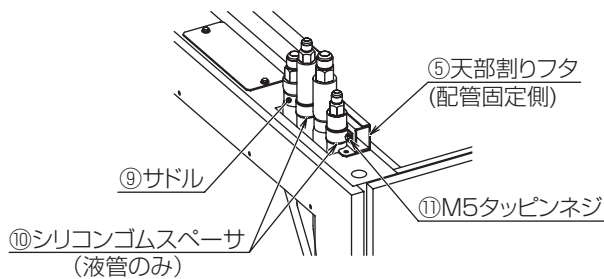
【6】と同手順で②配管・上 (定速 ガス) を挿入します。
先に挿入した液管とともに風路貫通穴に通して引き下げ、下部配管とフレア接続します。



【8】 中間割りフタの取付け

【2】で取付けた⑥中間割りフタに、もう一方の割りフタを取付けます。

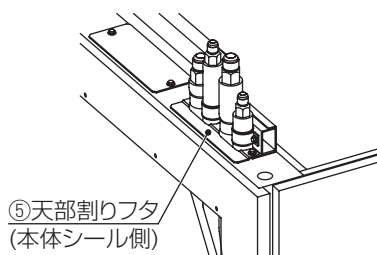
配管を割りフタの切欠きにはめ込んだ状態でネジ止めしてください。(⑪ネジ2本)



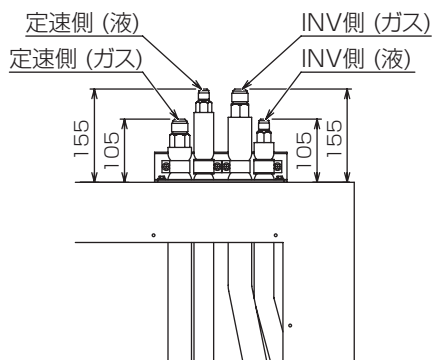
【9】 配管上部の固定

液管 (INV, 定速側とも) に⑩シリコンゴムスペーサを巻いてください。

それぞれの配管に⑨サドルを取付け、⑤天部割りフタ (配管固定側) に固定します。
(⑪ネジ各1本)



最後に⑤天部割りフタ (本体シール側) を先に取り付けた割りフタの上から重ねるようにしてユニットに共締めします。
(⑪ネジ2本)

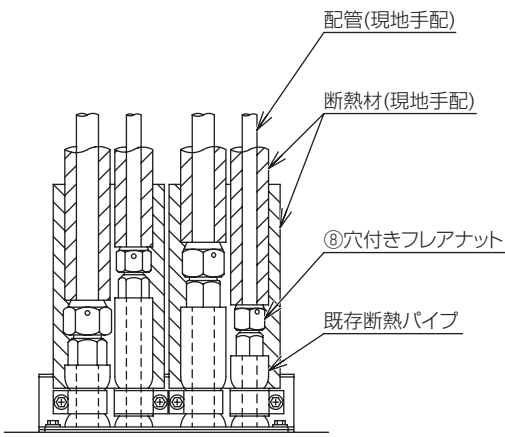


※ 4本の配管はそれぞれ左図の高さに固定してください。
(左図はユニット天面からの寸法です)

【10】 現地配管接続・断熱処理

⑧穴付きフレアナット2種で現地配管と接続してください。

※フレアナットは必ず付属のものをご使用ください。
付属品以外を使用の場合、氷結によりガス漏れ発生のおそれがあります。

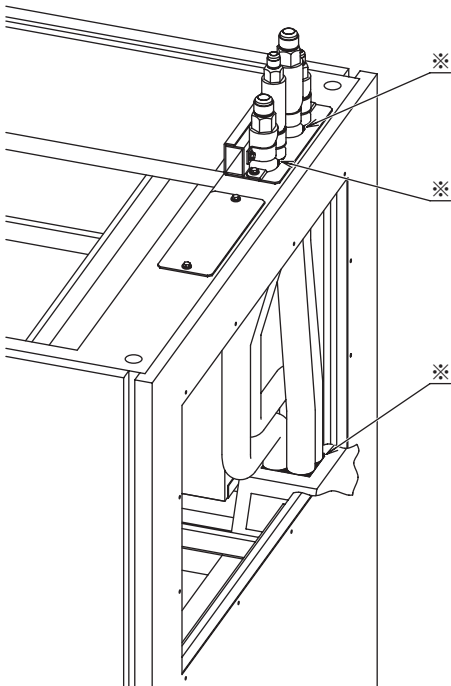


【11】 コーキング処理

配管固定後、ユニット天部と風路貫通部の隙間をコーキングしてください。

(※部)

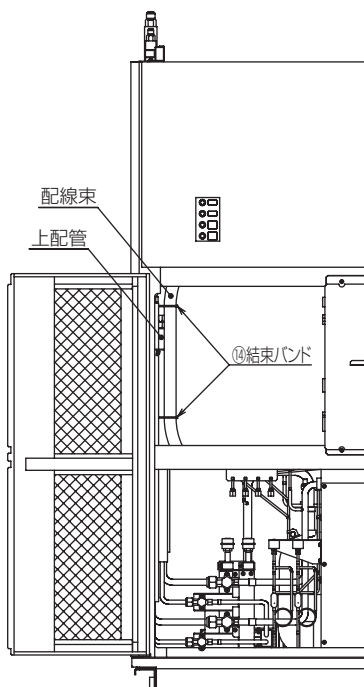
※コーキングが不十分な場合、風漏れにより結露発生のおそれがあります。



作業前に外しておいた配線類を⑭結束バンド(2本)にて結束してください。

作業前に取外したメンテナンスパネル、前パネルを元通り閉じてください。

以上で上配管の取付け作業は完了です。



(4) 配線工事

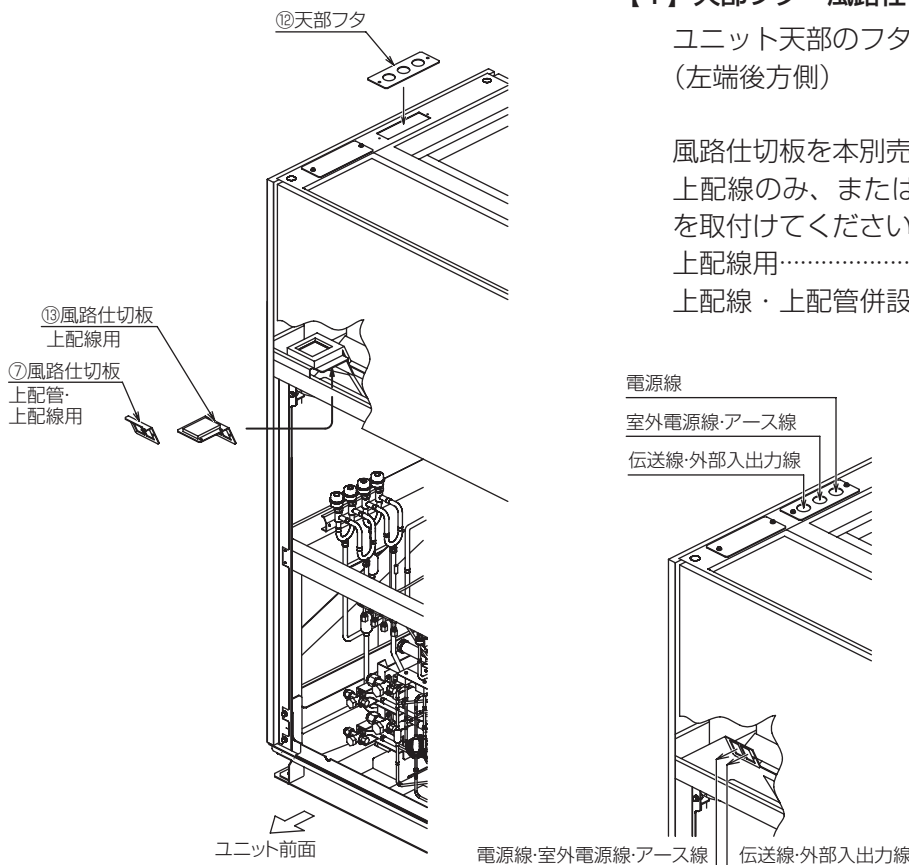
【1】 天部フタ・風路仕切板の交換

ユニット天部のフタを⑫天部フタに交換します。
(左端後方側)

風路仕切板を本別売部品⑦または⑬を取付けます。
上配線のみ、または上配線・上配管併設用のいずれか
を取付けてください。

上配線用……………⑪ネジ4本

上配線・上配管併設用 ……⑪ネジ2本



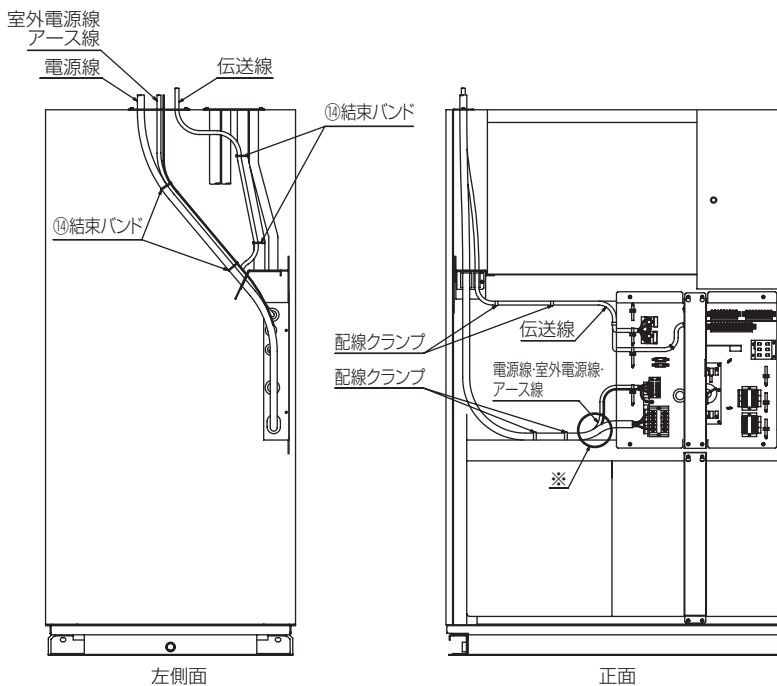
配線は左図のように、それぞれの貫通穴を電源線と伝送・外部入出力線に分けて通してください。

【2】 現地配線接続

【1】で取付けたユニット天部フタの配線穴から配線を引き込みます。

左図の経路で配線し、⑭結束バンドおよびユニット上下の梁に沿って配線クランプで固定してください。

※印部でトラップを設けてください。



[3] 端子台への接続

①電源線接続

制御盤への主電源配線を電源端子台 (TB1) R・S・T に、室外ユニットへの動力配線を電源端子台 (TB4) R・S・T に接続してください。

(電源線にシールド線を利用する場合は、シールドアースをアースネジ (⊕) に接続してください)
ユニット接地線はアースネジ (⊕) に接続してください。

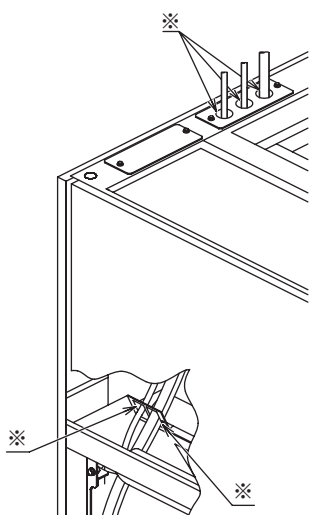
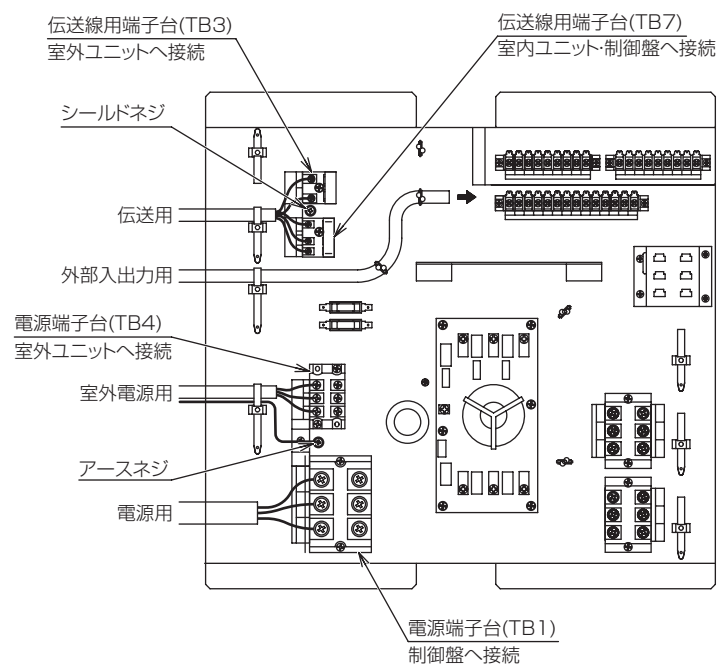
②伝送線接続

室内ユニットへの伝送線を、伝送線用端子台 (TB3) A・B に接続してください。

(シールドアースを『シールド』表示のあるネジに接続してください。)

室内ユニット間の伝送線を伝送線用端子台 (TB7) A・B に接続してください。

(シールドアースを TB7 『シールド中継用』表示のある端子に接続してください。)



穴貫通部は風漏れのないよう、コーキング処理を実施してください。(※部)

すべての作業終了後、端子箱カバー (左右) を元通り取付け、前パネル (下左右) を閉じてください。
以上で配線作業は完了です。

